経済・産業・実務シリーズ

社債市場での銀行の役割と今後の展望

大　類　雄　司

目　　次

1．二十数年ぶりの社債管理に係る法改正
2．日本の社債市場史―社債管理を焦点に―
3．「社債管理補助者」の創設の背景や狙い
4．日本の社債市場の今後の展望

法制審議会の会社法制部会が「社債管理補助者」（仮称）の創設を含む会社法改正の中間試案をまとめた。平成５年商法改正以来の社債管理に係る機関創設の提案である。日本の社債管理に係る法制では銀行に社債市場における一定の役割が期待されたが、低格付債市場の創設のための基盤として自衛できる投資家の社債管理を補助する社債管理補助者についても、銀行に金融仲介機能の一翼を担う役割が期待されよう。

1．二十数年ぶりの社債管理に係る法改正

2017年４月からの法制審議会の会社法制部会の議論を経た会社法改正に関する中間試案がパブリックコメントに付されている。中間試案には、「社債管理補助者」（仮称）の創設等社債法制の改正に係る試案が盛り込まれている。「社債管理補助者」の創設は社債法制の根幹ともいえる「社債の管理」のテーマに関わり、社債募集の受託会社制度から社債管理会社制度へ移行した平成５年商法改正以来の社債法制の中身に踏み込んだものといえよう。社債管理業務は古くから銀行業務と関わりが深い。本稿では、社債管理を中心とする社債法制に焦点を当てた形で日本の社債市場の歴史を振り返りながら、社債管理補助者の創設の狙いや背景を概説し、加えて今後の社債市場の展望を述べたい。なお、文中の意見に係る部分は筆者個人の意見・見解であり、筆者の所属するいかなる組織・団体の意見・見解を表明するものではないことをあらかじめお断りする。

2．日本の社債市場史―社債管理を焦点に―

⑴　社債市場の自由化前

明治期から第一次世界大戦までの間の社債は無



大類　雄司（おおるい　ゆうじ）
㈱みずほ銀行　証券部長。89年日本興業銀行（現みずほ銀行）入行。証券部調査チーム次長、副部長を経て現職。「社債市場の活性化に向けたインフラ整備に関するワーキング・グループ」（日証協）のほか、「事業再生関連手続研究会」（経産省）、「インフラリート研究会」（国交省）など、公共ファイナンスや市場・社債法制等に関係する各種公的懇談会・研究会の委員に就任。日本証券アナリスト協会理事。